

2021-22年度 国際ロータリー第2660地区  
吉川秀隆(よしかわ ひでたか) ガバナー



氏名 吉川秀隆 (Hidetaka Yoshikawa)  
 生年月日 1949年(昭和24年)8月17日  
 大阪RC入会日 1990年(平成2年)1月26日  
 職業分類 理髪店用備品製造  
 勤務先 タカラベルモント株式会社  
 役職 代表取締役会長兼社長  
 所在地 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1  
 経歴 日本大学経済学部 卒業  
 東京日産自動車販売株式会社 入社  
 1989年 タカラベルモント株式会社 代表取締役社長  
 1999年 タカラベルモント株式会社 代表取締役会長兼社長  
 2020年 現在に至る

ロータリー歴 1993年 IAC(インターアクト委員会)委員長  
 1995年 雑誌委員会 委員長  
 1996年 SAA・役員  
 1998年 幹事・役員  
 2005年 青少年奉仕委員会 委員長・理事  
 2013年 副会長・クラブ奉仕委員会 委員長・理事  
 2015年 クラブ会長  
 2016年 会員選考委員会 委員長  
 2017~18年 100周年記念事業準備委員会 委員長

その他 ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
 ロータリー米山記念奨学会 米山功労者(マルチプル)

賞罰 2004年10月 「薬事功労」につき厚生労働大臣表彰を受賞  
 2006年10月 「就職援護業務支援」につき国務大臣 防衛庁長官より感謝状を受賞  
 2009年11月 「産業振興功績」に基づき藍綬褒章を受章  
 2015年10月 「工業標準化の発展」につき経済産業大臣表彰を受賞  
 2016年10月 「公益への寄与」に基づき紺綬褒章を受章  
 2018年 5月 ベトナム社会主義共和国外務大臣表彰を受賞  
 2018年 7月 「国際交流への貢献」につき外務大臣表彰を受賞  
 2018年10月 「教育への成果」につき文部科学大臣表彰を受賞  
 2018年12月 「戦没者遺族援護功労」につき厚生労働大臣表彰を受賞  
 2019年 8月 チリ共和国よりベルナルドオイギンス勲章  
 グランオフィシャル章を受章  
 2019年10月 「就職援護基盤拡充功労」につき防衛大臣より感謝状を受賞  
 2020年 4月 経済産業省の推薦により旭日小綬章を受章

これからの予定

- 10月14日(木) 例会・臨時総会
- 10月20日(水) 友好ゴルフコンペ 於:伏尾ゴルフ倶楽部
- 10月21日(木) 例会
- 10月22日(金) IM第4組会長・幹事会(金輪会)
- 10月23日(土) クラブ社会奉仕委員長会議
- 10月23日(土) クラブ国際奉仕委員長会議
- 10月28日(木) 例会
- 11月4日(木) 例会・定例理事会

WEEKLY BULLETIN  
**OSAKA**  
**NAMBA**  
 大阪難波ロータリークラブ週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(国際ロータリー会長 シェカール・メータ)  
 2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ  
 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」  
 (第2660地区ガバナー 吉川秀隆)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>10月7日(木)</p> <p>卓話                      テーマ「会長幹事就任挨拶」                      卓話者 西原芳博会長・中川静夫幹事                      テーマ「ガバナー公式訪問」                      卓話者 国際ロータリー第2660地区                      吉川秀隆ガバナー</p>	<p>10月14日(木)</p> <p>テーマ                      「各委員会活動計画説明」                      卓話者                      クラブ奉仕、出席・プログラム、                      クラブ会報・雑誌、友好、広報ホーム                      ページ、会員増強、SAAの各委                      員長</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真実かどうか</li> <li>2. みんなに公平か</li> <li>3. 好意と友情を深めるか</li> <li>4. みんなのためになるかどうか</li> </ol>

第1回例会 本日のプログラム

- 開会 (点鐘) 通算第2119回例会
- ・国歌 「君が代」
  - ・ロータリーソング 「奉仕の理想」
  - ・ソングリーダー 岡本真一郎会員
  - ・来客紹介 友好委員

会食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 西原芳博会長
- ・幹事報告 中川静夫幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 SAA
- ・卓話

閉会 (点鐘)

♪ 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ  
 御国に捧げん我等の業  
 望むは世界の久遠の平和  
 めぐる歯車いや輝きて  
 永遠に栄えよ 我等のロータリー  
 ロータリー

ニコニコ箱報告		
前回の合計		¥0 (休会)
本日までの累計		¥0 (0%達成)
9月末の予算額		¥990,000
出席報告		
前回 9月30日(休会)		3週前 9月2日(休会)
会員総数	57名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率
出席会員数	名	
出席率	%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30  
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間  
 会長:西原芳博 幹事:中川静夫 会報・雑誌委員長:赤坂 宏 事務局:安部亜希子  
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階  
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

# 10月は「地域社会の経済発展月間」「米山月間」です

★来客紹介：ありません。

★会長報告：西原会長

2021-2022年度 大阪難波RCの会長を仰せつかりました西原でございます。  
RCに入会して13年半経ちますが、この壇上に立つというのがいつに慣れる気配がございません。RCの貴重な体験を経て、自分の商いとしている建築関係の業界の場で喋らせて頂く事も増え、そこではそれなりに緊張せずに居れるのですが、この場だけは何年たっても何か背筋が伸びる、そんなおごそかな独特の雰囲気がある、私にとっては特別な場所の様な気がしております。会長年度はそれが毎週続く訳で、心と体がか不安でしかありません。川口直前会長のように流暢に喋れませんが、私なりにクラブのお役に立てるよう、しっかり皆様と目線を合わせかわりあって、又、他クラブや2660地区、RIの情報につきましても、いち早く発信して参りたく考えております。

最初に簡単に自己紹介をさせていただきます。

S45.3.29生まれで現在51歳です。東大阪市の八戸ノ里という所で生まれ、その後、幼少時前半は主に大阪市東淀川区上新庄の小さな文化住宅で過ごしました。小学3年から今の会社がある寝屋川市に移り住み、幼少時代後半以降を過ごしました。その後、寝屋川高校を経て、1年浪人生活を送った後、龍谷大学経営学部に入學しました。今年度、副会長を受けていただいております森田先輩の5年か6年後輩にあたります。部活は中学校で陸上、高校、大学途中までハンドボール部に所属していましたが、膝の剥離骨折で長期休養を余儀なくされ、途中退部となりました。ですが、スポーツは大好きで、社会人になってからも高校の仲間たちと草野球を年に1.2回程度ですが遊びで楽しんで、30代半ばまでは続けていましたし、今はコロナ禍で中断してますがRC野球部でも思う存分楽しみつつ、皆様と交友を深めております。

職業は大学卒業後、北田さんと出会うこととなりましたアルミサッシを制作、販売する会社で7年勤め、31歳の時に今の会社がある父親が経営する株式会社寝屋川シールに入社致しました。その後、大阪難波ロータリークラブには37歳に北田さんの紹介で入会させて頂きました。その時の当クラブの年齢構成はと申しますと40代がパラパラで60.70.80代の大先輩が主流でした。白野さんや荻原さんが若手の筆頭で、北田さん、千田さん、大地さん、夏さんといった今の重鎮の方々の中核でぐいぐい引っ張っておられるそんな印象で、私にとっては落ち着く場所など到底ありませんでしたが、当時から夏さんや白野さんに夜の会食で私の心を癒して頂き、何とか今にたどり着いた所でございます。この13年間あっという間でしたが学ばして頂いた事ばか

りで、ロータリーでもっとも大切な奉仕のひとつとも言えるクラブ奉仕を大してできておりませんので、今期はクラブに対し、ひいては皆様に奉仕する強い気持ちをもって臨みたく考えております。

会長である私がぐいぐい引っ張っていけるタイプでもありませんので、皆様の力を存分にお借りしながら親睦と奉仕を進めて参ります。

組閣と致しましても私の女房役となって頂けるのが中川静夫さんです。年齢は私の12歳つまりひと廻り年上の戌年で少し年の離れた気の優しい、おおらかな心の持ち主の兄貴のような存在ですので、出来の悪い弟を助けて頂ける事だと信頼をよせております。今年度が始まる前から、地区補助金の事や今期の奉仕内容、予算組み、理事役員の人事の決定など全てを幹事に相談し、すでに中川幹事には頼り切っている状態です。中川幹事からも基本的には会長のやる事を支えて行くし、少し会長が走りすぎたり、廻りからそういう声が聞こえたら、遠慮なく手綱を引くと有難いお言葉も頂いておりますので、中川幹事、宜しくお祈いします。

又、副会長には前期同様お2人任命させて頂きました。中堅でクラブを現在バリバリ引っ張っておられる松浦さんと森田さんです。これまたお二人とも6つ7つ先輩でございます。松浦さんはものごしが柔らかくピンポイントで的をえた意見をいただけますし、森田さんは龍谷大学の先輩でもあり、当クラブのムードメーカー的存在でもあります。まだまだ至らない会長を年上の幹事、副会長がたくさんフォローして頂けると思っております。

さらに他の理事の方々も同年代の人が中心で、機動力があり、当クラブにも精通している方ばかりです。さらに、理事会には会計の岡西元会長や3人の副幹事、白野元会長、他クラブでの会長経験をお持ちの鉄崎さん、早栗さんにも参加頂き、ベテランの方々の意見も大切にバランスの取れたクラブ運営を目指していく所存です。

そして、今年度は伴井元会長が2660地区ガバナー補佐エレクトに就任されました。伴井さんにも理事会に出席を要請しており、承諾して頂いております。地区や他クラブの情報を伴井さんからも頂戴し、視野をはば広く持てるよう心掛けて参ります。

さて、今年度は、昨年を引き続き、コロナ禍での活動を余儀なくされております。今日現在では全ての行事が不確定要素の多い中、社会情勢に沿って、臨機応変に対応すべく、先ほどお名前を挙げさせていただいた方に留まらず、会長経験者の先輩、ベテラン会員の方々、我々と同年代の中堅の人たち、そしてどんどん新しい血を流してもらえる若手ロータリアンの皆様、会員全員の意見に耳を傾け、クラブの

見据える方針、道筋を出来るだけ多くの会員様に理解してもらえるようクラブ奉仕に努めて参ります。

コロナの完全終息が見えたとは、まだ言い難い今日、出来る事はなんなのか、リモート例会の併用、広報活動の充実、コロナ生活で広がる貧富格差問題への取り組み、コロナ前におきたが為に、やや薄れていきそうな地震等の被災地への奉仕、今こうしている間にもすぐにでも必要とされる人がいる血液を1人でも多くの人に捧げられるかもしれない献血活動、こんな時代にだからといって閉ざされてはならない若者の未来、それを後押しする為の青少年奉仕、地域社会に溶け込む奉仕団体としての役割など、挙げればきりが無い問題が私たちのまわりには溢れかえっています。これら全てを遂行するのはもちろん無理がありますが、会員全員がこれらのことを頭の片隅に置けるような、活動の提案、他クラブ、2660地区、RIなどの情報発信、地域社会や国際社会との連携を心がけ、今まで継続してきた奉仕活動の存続、新しい奉仕へのアクション、チャレンジなど、中川幹事はじめ、理事役員の方々と方向性を記し、会員皆様と奉仕と親睦に取り組む1年にしていきたいと存じます。

さらに今年度は大阪難波RCにとって、ロータリーアクトクラブを提唱し、活動が始まるいわばRAC元年でございます。立ち上げは前年度、川口直前会長の元、6月24日に第一回例会を開催しました。実働としては今期がRACのスタートの年となって来ようと思っております。RAC会員の方々だけでは、勿論、最初から何をしたらいいのかわかりませんが、そのヒントとなる道しるべを我々が示し、ともに歩んでいけるような居心地の良いフィールドや空間を提供し、その土壌を耕していければと考えております。RAC委員会も福田青少年奉仕委員長をはじめ、かなり多くの方に委員になって頂きましたが、委員会に属している属していない関わりませず、難波の新しい取り組みに会員62人全員が携わって頂き、またこの奉仕が媒介となって、さらなる親睦へ導くという相乗効果を生み出せるようなRAC委員会活動をみんなで考えて参りましょう。どうか若いRACの子達を日本社会の将来の宝物である彼らを大阪難波RC会員全員で育ててあげるといふ温かい気持ちで手を差し伸べて頂きますよう、かたがたお願い申し上げます。

話は変わりますが、シャカール・メータRI会長から示された2021-2022年度目標は  
・会員数を増やしてロータリーの参加者基盤を広げる  
・世界に奉仕してより大きなインパクトをもたらす 以上の2点です。  
シャカール・メータRI会長はさらに、この2つの目標を実現するために我々がすべき事は

「もっと行動し、もっと成長する」こと  
「もっと行動し」とは、より大きくインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを遂行する、  
「もっと成長する」とは会員を増やし、参加者基盤を広げる という事です。  
当クラブにとってのインパクトをもたらす奉仕とは何でしょうか？  
現在進行形の奉仕もたくさんあります。社会奉仕として赤十字と連携した活動、道頓堀リバーフェスティバルでのキッズダンスへの協賛、そのイベントとのコラボで身障者の手作り品の販売と募金活動による寄付、悲田院での和太鼓部による演奏や植樹や寄贈品の贈呈、台中西南RC、釜山西北RCとの三姉妹交流による人道的国際奉仕活動、そして前年度末に立ち上げた大阪難波ロータリーアクトクラブの活動支援と様々な奉仕が目白押しです。

我々はその活動ひとつひとつの規模や内容もさることながら、より会員おひとりおひとりがいかに思いを持って、より多くの会員の方々が参加し、その集合体が結果として地域に社会に貢献できる奉仕活動を遂行し、結果、より大きくインパクトをもたらす奉仕への近道になると信じております。ひいては我々も奉仕を通じて親睦を深め、又、ロータリアンとして成長し、大阪難波RCが魅力あるクラブへと導かれていくと考えております。

わたくしごとですが、今年度から段正峰会員が入会されましたが、昨年お亡くなりになられたお父様、段さんに生前、飲食の場でよく言っていた事があります。

「西原、これからは川口とかお前とか若い会員がもっと前に出てクラブを引っ張って行け、お前は遠慮ばかりし過ぎてる。もっと自信をもってクラブに貢献していけ。」と飲み屋から飲み屋に向かう道でほろ酔いの段さんがよくありがたいお言葉で叱咤激励して頂きました。勿論、皆様のぐいぐい引っ張って行くほどの統率力は私にはありませんが、幸いにしてたくさんの会員の方と仲良く13年間過ごさせて頂きましたので、信頼のおける皆様と共に歩んで行く1年にしたいと存じます。若干51歳で会長を仰せつかることとなりましたが、なった限りは後悔のない1年間に出来ますよう精進して参りますので、どうかお付き合頂戴して頂けます事をお願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。

★幹事報告：中川静夫幹事

1.10月14日例会終了後、臨時総会を開催させていただきますので、少しお残り下さい。

★委員会報告：ありません。

★ニコニコ箱報告：ありません。

★卓話：ありません。